



法人よつば たより

No.25

発行：社会福祉法人よつば ☎04-7199-7931
 発行日：2023年 11月 1日
 ホームページ：<http://www.kashiwa-yotsuba.jp>

☆ご挨拶

・発達障害についての啓発講演会を開きました。

我孫子市にある、千葉県発達障害者支援センターの副所長である、田熊 立さんを迎えて、流山市で、「発達障害とは？ パートⅡ」を開きました。主催は発達障害者家族会で、よつば家族会は後援として参加しました。出席者は百名でした。チラシや市の広報を見て初めての方も多く参加して下さいました。

・十二月初旬に、法人よつばの定期理事会と評議員会が開かれます。

一年度の半分が経過し、二〇二三年度の上期事業報告と会計報告補正予算案、などが審議されます。また、法人主催の啓発講演会のごとも、準備状況を報告します。

☆障害者の体験や思い

・流山市在住 A〇さん



私は現在、流山市の有料老人ホームに入居したばかりです。まだ一か月も経っていません。後見人さんが入居準備を手伝ってくれました。ここに落ち着くまでに、住まいを幾つも変わりました。私が

四十代の時に、両親が亡くなりましたので、それ以降は兄弟が相談に乗ったり、お金の管理をしてくれました。しかし、兄弟もそれぞれ生活があるため、もう十五年近く前だったと思いますが、後見人を付けてくれました。

両親がまだ元気だった時に、一度見合い結婚しましたが、すでに精神障害を発症していたこともあって、私には結婚生活は苦痛でした。主婦の役割は到底できませんでしたので、二年も経ずに離婚しました。実家に戻ることもできず、アパート生活を始めましたが、具合が悪くして精神科に入院しました。退院が出来る頃になって、兄弟が役所と相談して、グループホームを探してくれました。

グループホームは、最初は嫌でしたが、少しずつ慣れてきて、友達になってくれる人もあって、そこからデイケアに通いました。しかし、六十歳を超えたところから、体力・気力がなくなり、転ぶようにもなって、皆で相談の結果、老人ホームへの入居を探し始めました。幸い、お金は両親が残してくれたので、費用は賄える目処が立ちました。一番いやだったの

は、これまでの知り合いや友人と別れることになるのがつらかったです。でも電話で話せることや、会いに来てくれる約束をしました。これからの私は、高齢者のデイサービスに通うことになりそうです。そこで、知り合いが出来ればいいと思います。

大学時代の若い頃には、想像もなかった今の私です。なぜ精神障害者になったのか、理由は分かりませんが、分かったのは、人生は思うようにならないこと、また精神障害はだれがなってでも不思議ではないということです。でも、一度も死にたいと思わなかったのはなぜかな？と思います。

☆家族の思いと願い

・以前流山在住 APさん



私は現在、東京都に住んでいます。少し前までは、流山市で暮らしていました。私も八十歳近くになって、自分の体調に自信が持てなくなりました。心配してくれていた子どもたちが、東京の有料老人ホームへの転居を何度も進めてくれていましたが、病気の息子のことが心配でずるずると伸ばしてきました。しかし、要介護になっ

た時点で、決断するしかない状況になりました。流山市の住まいを売却し、そのお金を資金として、入居を決めたわけです。息子は、入退院を繰り返し、今でも柏市の精神科病院に入院しています。仮に退院できたとしても、アパート暮らしは無理ですし、住む家は売却しましたので、あとは日中活動支援型のグループホームか、東京の精神科病院への転院しかないと思います。

息子には、私が東京の老人ホームに引越したことは伝えていません。今はまだ話せる状態にありません。息子の発症は二十代の終わりごろです。小さい時から神経質など人と人間関係が苦手な所がありました。しかし、頭の良い子でしたし、優しい子どもでした。ですから高校と大学はスムーズに合格しました。人間関係が苦手だったことで、工学部に進みました。会社にも就職しました。そろそろ結婚を考える時期になって、体調を崩し、会社を休みがちになりました。時々変なことを口走ったり、被害妄想のようなことを言い始めました。会社の産業医の先生から、精神科への受診を勧められ、統合

失調症だと診断されました。信じられず、別の病院にも受診しましたが、同じ診断でした。暫らく休職の後、退職しました。自暴自棄になり、無気力にもなり、薬の副作用も重なって、暴言を吐いたり、暴力で物を壊したりしました。しかし、親を殴るようなことはしませんでした。

もともと優しい子どもです。で、本人は相当苦しんだと思います。そのあとは、入退院の繰り返しとなりました。主人が亡くなった後は、私が一人で息子の面倒を見ました。他にも子供がいますが、子どもたちは距離を取っていますので、私は何も言いません。それぞれの子どもには、別の人生があると 생각합니다。ですから、後見人を付けることを考えています。まず私が任意後見人になり、そのあとは家庭裁判所で後見人を決めて頂けることを勉強中です。精神障害は、つくづく厄介な病だなど思っています。以前聞いた講演会で、「早期発見・早期治療」が大切だと話されていますが、若い人・特に子供たちに病気のことを知ってほしいと思います。そうすれば、治る人も増えます。

☆発達障害者家族会の「定例会」のご案内です！

先月に、田熊立さんを迎えて、啓発講演会を開きました。家族会の方だけでなく、福祉サービスの事業所から、また広報やチラシなどで市民の方が多く参加して下さいました。



※定期の集まりの紹介

- ・家族会 毎月第二土曜日朝十時から、初石公民館にて
- ・当事者会 毎月第四日曜日午後一時から、初石公民館にて
- ・問い合わせ 勝本まで

090-3696-1589

☆法人の事業案内

・就労支援B型青い鳥の「キッチンよつば」流山市初石公民館内にある、喫茶と軽食のお店です。利用者の方が、接客や調理をして、徐々に自信を取り戻し、社会に戻って行かれるのに最適です。問い合わせは、青い鳥〇四・七一九九・八一一九です。まず、見学をお願いします。

☆先人の言葉



誠に、「安全の脅威」ほど、平和を取り壊すキャンペーンに使わ

れやすいものはない。

障害者のニーズとは、生活全般の解決すべき課題であり、これは支援者の視点である。一方、ディマインドとは、「こうなりたい・こうしたい」などのご本人の意向を表す。このためには、日常生活の観察を含めたアセスメントが重要であり、潜在的なニーズは、ディマインドから導き出すことが必要である。

因果関係についての、エムズレイの言葉。行動と結果のズレが小さいほど、軽率な因果関係に発展しやすい。因果関係の判断における、決定的な要素が四つある。時間的な順序、空間的・時間的な近接があること、一致性がみられること、共に変動することである。

柏部会の案内

日時 十一月二十五日(土)

午後一時から

会場 パレット柏C会議室

流山部会の案内

日時 十一月二十四日(金)

午前一〇時から

会場 初石公民館 会議室